

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

VP-16+CDDP療法(EP療法) (short hydration)

4 週毎 コース予定

疾患名 神経内分泌細胞癌(NEC)

主治医 指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1	day2	day3
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓
シスプラチン	80 mg/m ²	↓		

【注意】

- *エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で溶解し
(濃度0.4 mg/mL以下の濃度になるように)、30分以上かけて点滴静注する
またDEHPフリー点滴セット(フィルターなし)を使用する
- *シスプラチン投与におけるショートハイドレーションの手引きを参照すること
- *シスプラチンは遮光のこと

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1 点滴開始からシスプラチン投与終了までに1000 mL程度の飲水を行うこと

抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Capを内服

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq
点滴静注60分(500 mL/時間)
- ③ グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL
点滴静注30分(200 mL/時間)
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)
- ⑤ 20%マンニトール 200 mL 点滴静注30分(400 mL/時間)
- ⑥ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注120分(240 mL/時間)

福岡大学化学療法プロトコール審査委員会承認 (令和元年年7月26日) B1203

2025年5月23日改訂

VP-16+CDDP療法 (short hydration)

*生食200 mLをバッグから前もって抜いておく

- ⑦ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

- ⑧ オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 2, 3 アプレピタントカプセル(80 mg) 1 Cap 1 × 朝

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
 ② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注
 ③ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2-4 オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 4

- ① デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓			↓		
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時間	↓			↓		
確認						

シスプラチン投与におけるショートハイドレーション法の手引き

福岡大学化学療法プロトコール審査委員会承認 (令和元年年7月26日) B1203

2025年5月23日改訂

VP-16+CDDP療法 (short hydration)

【ショートハイドレーションの適応】

- ・腎機能が維持されている($CCr > 60 \text{ mL/min}$)
- ・飲水指示を正しく理解し、遵守できる
- ・心機能が保持されている ($EF > 60\%$ など、1時間当たり500mLの補液に耐えうる)

【投与の実際と観察項目】

<飲水に関して>

点滴開始からシスプラチン投与終了までに1000mL程度の飲水を行う。

(大量の水摂取により水中毒を介した低Na血症を生じる可能性がある。過剰な飲水は必要なく、通常の飲水+1000mL程度の飲水でよい)

<測定・確認項目について>

尿量・飲水量および体重測定を行いin-outバランスを確認し、指示にかかる場合は主治医に確認する (目安としてシスプラチン開始後の尿量:2000~3000mL、治療開始前後の体重+2~3kgなど)

<検査値に関して>

K高値 (正常値上限を超える) の場合は、輸液中のK中止を検討する。

日本肺癌学会 シスプラチン投与におけるショートハイドレーション法の手引き2024から改変